

「北海道サマー・インスティテュート 2016」

2016年4月 教育学院国際交流委員会

教育学院では、学部教育におけるESDプログラムを発展的に継承し、本年度より大学院における[全学共通授業科目](#)、「サマー・インスティテュート 2016」として集中講義を開設しました。詳細は電子ブック6頁、81-84頁を参照下さい。

<http://www.hokudai.ac.jp/gakusei/instruction-info/gclass/>

<大学院全学共通授業科目>

記号 101532. 多文化共生論概説（オープニングおよび講義1～3を含む）：1単位

The Lecture of Exploring the Arguments on Multi-culturalism and Coexistence: opening session and lecture 1-3.

記号 101533. 多文化共生論演習（演習1-3及び総括を含む）：1単位

The Seminar of Exploring the Arguments on Multi-culturalism and Coexistence: seminar 1-3 & conclusive session.

1. プログラム概要

世界の第一線で活躍する講師陣による講義と演習から成ります。授業は国際言語で行われ、海外から参加する受講者と共に学びます。教育学院が開講する本年度のサマー・インスティテュートでは、「多文化共生」を巡る議論を通して、国際化時代の高等教育における人材育成にとって不可欠の課題について考える力を養います。

4名のゲスト・ティーチャーが担当する以下のトピックで構成：

- ◇ グローバリゼーションの文化政治 / Tessa Morris-Suzuki (Australian National University)
- ◇ 多言語教育を媒介に / Joseph Lo Bianco (The University of Melbourne)
- ◇ 多文化/国際文化事象を媒介に / Malcolm MacLean (University of Gloucestershire)
- ◇ 多元化社会におけるジェンダー教育を媒介に / Heidi Sinevaara-Niskanen (University of Lapland)

他の研究科・学院・研究院の大学院生も受講可能です！

2. 受講対象者： **本学の大学院生・特別聴講学生**

3. 集中講義日程： 2016年7月20日（水）から29日（金）

C.f. 裏面を参照すること：学部のESDプログラムと併行して実施。

4. 受講条件

- ① 概説、演習の両方を受講すること。
- ② 教育学院開設科目「教育学研究総合講義サマー・インスティテュート事前学習」（2単位・1学期金曜1時限）*を受講していることが望ましい。
*サマー・インスティテュートの授業内容の理解を深め、授業をサポートするために開設された事前学習のための授業です。

異文化理解と共生の問題を考慮することなく、国際人として振る舞うことは今日困難な時代にあります。国際言語による授業に苦手意識がある人も、この機会にテーマの意義を理解し、海外からの受講者とともに英語による授業に挑戦してみましょう！

問合先：教育研究支援室（教育学部2階 学院長室向い）

E-mail: support-edu@hokudai.ac.jp



Photo:
Tatu Kantomaa